

日曜日礼拝順序

憩いの場

2019年4月7日 午前11時 南部チャペル

“主に栄光を帰する意味”

前奏	鈴木義兄
頌栄	539
開会の祈り	Scroggins 由紀牧師
主の祈り	一同
讚美	賛美歌90 “ここもかみの みくになれば”
祈りの時	Scroggins 由紀牧師
聖書拝読	一同
	ルカによる福音書19章1-10節
讚美	賛美歌495 “イエスよこの身を ゆかせたまえ”
説教	“主イエスのみことば 6” Scroggins 由紀牧師
讚美	賛美歌502 “いとまかしこし イエスの恵み”
献金	下竹由美子姉
賛美歌	205 (1-2節)
聖餐式	Scroggins 由紀牧師
賛美歌	205 (3-4節)
報告	
頌栄	541
祝祷	Scroggins 由紀牧師
後奏	鈴木義兄

(礼拝終了:奉仕開始)

 交わりの時 礼拝後 南部チャペル

光の会 午前9時30分

“神の子らよ、主に帰せよ。栄光と力とを主に帰せよ。” (詩編29篇1節)

かなり前ですが、オーストラリアに行ったときに、ある女性が、アメリカ人が自信に満ちた行動をするのはトレーニングがオーストラリアも含めたほかの国とは違うからだ、と言っていたのが印象的でしたが、アメリカ人は自信に満ちた人が多いと思われているようです。そして、アメリカ文化は、よく謝る日本文化とは対極に考えられています。しかし聖書を読んでも自信、自分を信じる、というのは神への信仰と相反するものです。

詩編29篇において、栄光と力とを主に帰せよ、とうたったダビデ王は、神に愛された王でした。残念ながら、権力と自信を持った時に姦淫という罪を犯しましたが、悔い改めて、神に立ち返りました。アメリカ人でも信仰のある人々は、何か褒められると、神に栄光を帰する、ということを行います。また、教会やコミュニティーのために熱心に奉仕し、献金するのも、自己中心から離れるための霊的な訓練であると考えているアメリカ人を見ると、単なるトレーニングによる自信ではない、神への敬意と確信というものを感じるのです。

何かにつけて、自分、自分という人たちは、実はキリスト教だけでなく、仏教やほかの宗教からも幸せとはかけ離れた道を歩んでいると戒められています。日本語に、おかげさまで、という言葉がありますが、自分でなく、誰かのおかげで今の自分があるという確認でしょう。神に栄光を帰することにより、私たちは、神とつながっているという心の平安と明日を生きる力が与えられます。それこそが自分を信じるよりずっと確かなしあわせへの道ではないでしょうか。私たちが、それぞれ祝されたしあわせな道を歩めますようにお祈りいたします。(Scroggins 由紀)

記事:消息

—陳百合子姉、南部勝牧師、武井里花姉、小坂るみ姉、三縄都美子姉、下竹寛子姉、英語部の Kate Whitmore 姉、Ron and Donna Barlow 夫妻など、主の癒しを必要とされている方々のためにお祈りください。

お知らせ

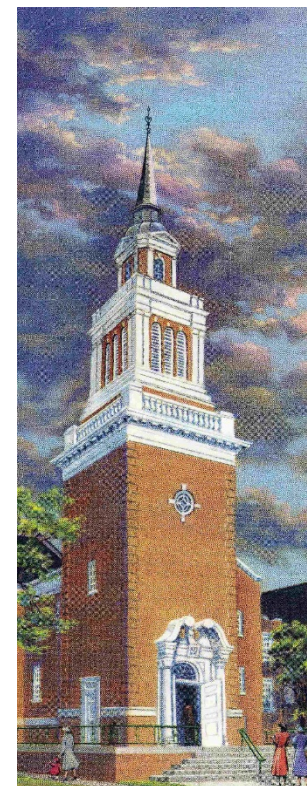
—毎週日曜日、午前9時30分より、南部チャペルにて、“光の会”と題して朝のさわやかな光の中で、対話と祈りをもって気軽に集う会を設けております。キリスト教に興味がある方、教会をしばらく離れている方、祈りを必要とされている方、どうぞご参加ください。

—本日は、午後3時より英語部の Michael Ware 牧師の就任式があります。どうぞ皆さんご参加ください。

今週の讃美：あなたのみことばは

<https://www.youtube.com/watch?v=fjP1n7f5M3s>

発行：2019年4月3日ノースショアバプテスト教会日本語部
スクロギンズ 由紀牧師 (Rev. Yuki Scroggins)
電話：773-728-4200



週報

第3716号
2019年4月7日

ノースショア バプテスト教会 日本語部
North Shore Baptist Church Japanese Language Group

5244 North Lakewood Ave. Chicago, IL 60640

Phone: 773-728-4200

Web: www.northshorebaptist.org